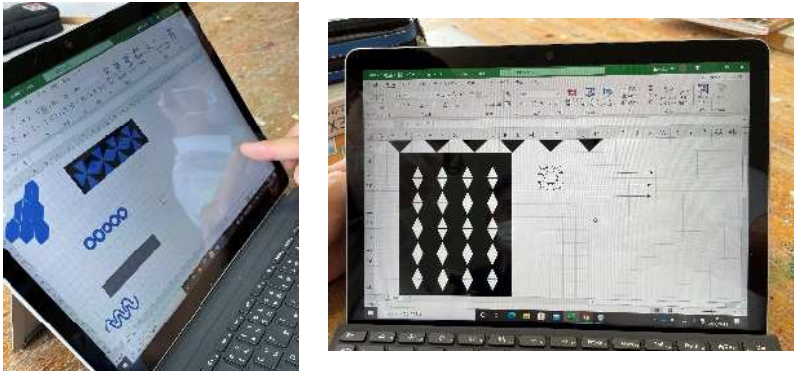


## 教材・支援機器活用実践事例【ICT】

## 作品をデザインするための ICT 活用 「Excel 図形描画機能の応用」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部 1 年
	障がい名等	聴覚障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・ 準ずる教育課程で学んでおり、音声や手話を利用して伝え合うことができる。
授業について  (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	美術
	単元(題材)名	単元名「用途を考えた包装紙をデザインしよう」
	単元(題材)の概要	・ 連続模様の構成を知り、ソフトウェアで自分なりの連続模様をデザインする。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>簡単な図形を用いた連続模様の作成</p> 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的なソフトの操作方法を踏まえ、コピー、貼り付けや色の反転、重ね合わせなどの機能を活用して自分なりの連続模様をつくることができる。</li> </ul> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動する前に TV モニターで Excel の設定の確認をするとともに参考作品を提示することで意欲を高める。</li> <li>・ お互いの連続模様について発表することで、どのように作成したのかを学び合えるようにする。</li> </ul>
	材料・作成方法等	タブレット端末、TV モニター、Microsoft Excel
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Excel の描画機能を有効に活用しながら、意欲的に活動に取り組むことができた。</li> <li>・ Web 検索で連続模様について調べ、そこで得た情報を作品に取り入れる生徒もいた。</li> </ul>

(令和 4 年度)